

えごプレ^{しんぶん}も^{もり}新聞^{しょうがくせい ほごしゃ かた とど つうしん}

えごプレ新聞は、「えごたの森プレーパーク」が、小学生と保護者の方にお届けする通信です。

2026年 3月発行 Vol.3

- 開催日：毎週土曜日～水曜日
- 開催時間：9時半～17時（11月～2月）
9時半～18時（3月～10月）
- お休み：毎週木曜日・金曜日
年末年始（12/29～1/3）

ハンモック筋トレ
こんな使い方もあり!?
目指せ! 4キムキマッチョ!

オリジナル チョークづくり
落ちてる石も プレーパークで磨けば...
みがか
石磨き
つるつる ぴかぴか!
見たことない色の チョークも 作るぜ☆

プレーパークは いっでも やってるよ～

プレーパーク だからできる! こんな遊び!!
あそ
面白いかも!?
いっしょ 一緒にやってみよう!

木・金曜日がお休みだよ
もく きんようび

こまボーリング
投げ方を変えれば こんなことも できちゃう!?

めっちゃ 飛ぶ~~!?

ボールゴルフ
ボールも好きな形 に作れる!

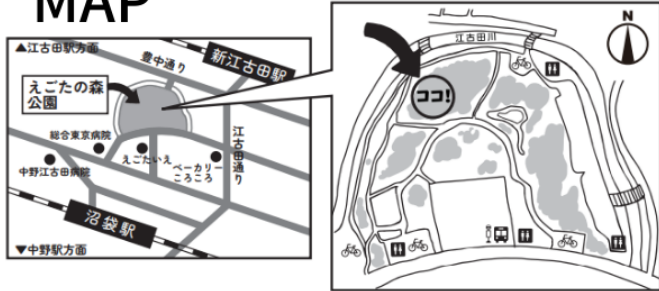
激ムズ ボーリングだ!!

うれ~!! ホールインワンだ!!

あそびにくるみんなへ

- ★申し込みナシ！だれでもあそべるよ～。
- ★開催時間内、いつ来てもいつ帰ってもOK。
- ★お金はかかりません。
- ★汚れてもいい服や靴で来てね。
- ★着替えがあると安心だよ。
- ★おやつやお弁当をもって来てもいいよ。
- ★ゴミはもって帰ってね。
- ★なくなったら困るモノは持ってこないでね。

MAP



えごたの森プレーパークには プレーリーダーがいるよ！

プレーリーダーは、こどもが遊ぶ！サポートをするスタッフです。毎日、えごたの森プレーパークにいます。〇〇をやってみたいな～というときや、わからない…困った…ときには、声をかけてね。

プレーリーダー
の目印は
赤いTシャツ！



※遊ぶ時間は季節で違います。

9:30～17:00 (11月～2月)

9:30～18:00 (3月～10月)

大人のみなさんへ

なぜ子どもと関わる仕事を目指したのか？きっかけは、中学3年の頃に「学校の先生になりたい！」と思ったこと。「こんな先生になりたいな～」という憧れの先生がいたという、まあ、あるあるな理由です。この1年間、学校生活がシンプルに楽しかった！自分自身も生き生きしていたけど、周りのみんなも生き生きしていたような感覚がある。それは、そこに居る大人の立ち振る舞い次第で、変わるものとも思えた。

立ち止まったのは教育実習。「教育」の現場に入って感じたのは、学校は何かを「教える」場であるということ。教えることがしたいわけではない、自分で気付くことの方が大事だと思っている自分の想いが、学校で働く壁になることに気付いた。もう一つ、自分の枠の中でしか知らなかった「子ども像」が、現実とかけ離れていることにも気付いた。

そこで「まずは、今の子どもたちを知りたい！」「遊んでいる時が、一番その子らしさが出る。」と思い、学童保育のスタッフになった。ところが、思うほど自由に遊ぶ時間が少なく、1日のプログラムとか集団生活のルールなども多くて、これが保育なんだと、また気付くこととなる。

「よっしゃ、遊ぼうぜ！」という時の子どもの表情と声の熱量を差し置いて、今それより大事なものってないでしょっていうのが、自分の大事にしたいことなんだと、自問自答することが増えていった…。

だから、『教育』でも『保育』でもない、プレーリーダーという道に自分が足を踏み入れたのは、たどり着いた先ということです。



→『かつき編』つづきは
ホームページへ！

今回はプレーリーダーの自己紹介です。全文を編集なしは、『えごたの森プレーパーク』のホームページをご覧ください。

大学は子どもについて学べる学校で、惹かれたのは「人の基礎を作る部分を学ぶ」という方針でした。実習では、子どもは遊びながら楽しいこと、上手くいかないこと等を体験しながら、生きる力を蓄えていくことを実感。

「子どもって、なんて面白い存在だろう」とも思い始めた頃から、「子ども達と一緒に育ちたい。子ども時代を過ごすこの子どもの楽しい時間を大切にしたい。」という思いも強くなりました。

新卒から8年していた幼稚園や保育園での先生という仕事も、大変だけれど楽しかったです。でも、ずっと心のどこかに引っかかっていたのが、「先生じゃない子どもとの関わりってなにかあるのかな？もっと子ども達との距離が近い立場ってあるのかな？」ということ。だから「先生じゃないナナメの関係」「遊びの専門職」「誰でも来ていい地域の居場所」などのキーワードがたくさん出てくるプレーパークという場とプレーリーダーという仕事に興味を持ちました。

プレーパークに漂う「誰でも自分らしくあっていい」という雰囲気心地よいです。先生じゃないから「素」の子どもを受け入れられる、子ども達との距離を縮めながら、子ども達の育ちの傍にいられる…本当に素敵な場で、素敵な仕事だと、今は改めて噛みしめています。



ゆき

